

「教育研究業績」記入要領

- ◆「教育研究業績」は原則としてPC等で入力していただくとともに、丁寧にお取扱ください。
- ◆業績は、項目ごとに直近のものから遡って時系列順に記入してください。
- ◆記載事項の分量に応じて各欄のスペースや枚数、行数は増やして構いません。
- ◆右上のNo. は、教育研究業績Ⅰ～Ⅳの通し番号としてください。
- ◆『昇任』の場合、現職位から現在までの間の教育研究業績のみを記入してください。

【教育研究業績Ⅰ：研究活動】

- ◆実務家の方へ：研究業績は純粋な研究論文等に限定することなく、著書・編書・論文・学会報告・専門分野に関する解説（判例解説・時事解説・草案解説等）・座談会・講演記録・調査報告等の別（共編・共著・共同作成の場合にはその旨）を示して、網羅的に記載してください。
- ◆該当する実績がない項目は「該当なし」と記載してください。
- ◆すべての項目が「該当なし」の場合でも、必ず提出してください。

1. 研究者情報

お持ちの場合は、ORCID、研究者番号、Researcher IDをご記入ください。

2. 著書

- ・単著・共著・分担執筆の別※、著書名／タイトル、執筆担当章・ページ、発行年月、発行元を明示してください
- ※表紙、奥付等に氏名が記載されている場合のみを共著とします。氏名が記載されていない場合は分担執筆として扱います。
- ※共著・分担執筆の場合、執筆担当ページを必ず記入してください。
- ・業績の最後に合計数を記入してください（昇任人事の場合は、現職位から現在までの合計数を記入してください）。

3. 修士論文・博士論文

- ・論文タイトル、発表年月、大学・研究科名を記入してください。

4. 論文

- ・学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限りします。
- ・単著・共著の別、論文名、著者名、掲載誌・機関名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年月（西暦）を記入してください。
- ・共著者名は、著者名を論文に記載されている順序で全て記載してください。その際、自身の名前に一重下線を付し、自身が筆頭著者の場合は（筆頭）と明記してください。

【研究員のみ】自身が責任著者の場合は（責任）と明記してください。

- ・各論文について、被引用回数を記入してください。

- ・業績の最後に合計数と、その内数としての査読付論文数、SCOPUS掲載論文数、Web of Science掲載論文数を記入してください。ただし、SCOPUS掲載論文数およびWeb of Science掲載論文数については、やむをえない場合はどちらか一方の記入でも構いません。(昇任人事の場合は、現職位から現在までの合計数を記入してください)。

5. 学会発表

- ・国際学会の場合は（国際学会）と、招待講演の場合は（招待講演）と、基調講演の場合は（基調講演）と、査読付の場合は（査読付）と、それぞれ記載してください。
- ・タイトル、発表年月、主催者・掲載誌名を記入してください。
- ・日本語以外の言語での発表・講演である場合は、タイトルのあとに（〇〇語）と明記してください。
- ・業績の最後に合計数と、その内数としての国際学会発表数、招待講演数、基調講演数、査読付数を記入してください（昇任人事の場合は、現職位から現在までの合計数を記入してください）。

6. 外部資金獲得状況（科研費、科研費以外の公的研究費、その他民間機関からの研究費等、いずれも研究代表者に限る）

- ・科研費：研究代表者として採択された研究課題について、種別、研究課題名、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。
- ・科研費以外の公的研究費：代表者として採択された、日本学術振興会、JST、NEDO、省庁・地方自治体などの公的研究費について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。
- ・その他民間機関からの研究費等：代表者として採択された、民間企業からの受託・共同研究費、民間財団からの助成等について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。
- ・業績の最後に合計数と、その内数としての科研費獲得件数、科研費以外の公的研究費獲得件数を記入してください(昇任人事の場合は、現職位から現在迄の合計数を記入してください)。

7. 研究活動における受賞歴

- ・学術賞等の受賞状況、特に海外の科学アカデミー等からの国際的学術賞の受賞があれば、賞の名称、授与団体・学会名、授賞年月を記入してください。

8. 特許・実用新案等

- ・内容、取得年月等について記入してください。

9. 日本以外の国における研究歴

- ・履歴書に記載のない特筆すべき研究歴がある場合、その研究に従事した期間（開始～終了）、概要、国名、所属機関等について記入してください。

10. 海外機関との共同研究等の実績

- ・実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

11. その他研究活動上特記すべき事項

- ・各種財団の競争的資金獲得状況、研究業績・成果のメディアによる掲載など、上記項目以外の特記すべき事項があれば記入してください。

【教育研究業績Ⅱ：教育活動】

- ◆該当する実績がない項目は「該当なし」と記載してください。
- ◆すべての項目が「該当なし」の場合でも、必ず提出してください。

1. 教育活動における受賞歴、教育面での評価（ティーチングアワード等）

- ・受賞年月、概要、授与機関等について記入してください。

2. これまで担当した主な科目

- ・科目名、実施機関、担当年度を記入してください。

3. 直近3年間の論文指導学生数

- ・修士論文、博士論文の指導学生数を、主査・副査の別ごとに記入してください。

4. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)、日本語以外の教育歴

- ・実施年月、概要、実施機関等について記入してください。
- ・日本語以外の教育歴については、日本国内・国外を問いません。

5. 作成した教科書、教材、参考書

- ・題名、発行元、発行年月等について記入してください。
- ・日本語以外の言語で作成された場合、(〇〇語)のように明記してください。

6. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等

- ・発表年月、題名、発表箇所等について記入してください。
- ・日本語以外の言語での発表・講演である場合、タイトルのあとに(〇〇語)のように明記してください。

7. 教育方法に関するセミナー・研修等の受講歴

- ・受講年月、タイトル、開催団体等について記入してください。

8. 日本以外の国における教育活動歴とその言語

- ・履歴書に記載のない特筆すべき教育活動歴がある場合、その教育活動に従事した期間（開始～終了）、概要、国名、所属機関等について記入してください。

9. その他教育活動上特記すべき事項

- ・教育業績・教育方法のメディアによる掲載など、上記項目以外の特記すべき事項があれば記入してください。

【教育研究業績Ⅲ：専門分野に関する実務経験】

- ◆「教育研究業績Ⅲ：専門分野に関する実務経験」は、主に実務者が記入されることを想定した書式です。
- ◆該当する実績がない項目は「該当なし」と記載してください。
- ◆すべての項目が「該当なし」の場合でも、必ず提出してください。

1. 専門分野に関する実務経験

専門分野に関する実務経験について、期間、所属機関、資格・役職、業務内容について記入してください。弁護士・公認会計士等の資格をお持ちの場合は取得年月・登録年月を記入してください。

2. 専門分野に関する実務経験上、特記すべき事項

たとえば、以下のような特記すべき事項について、実施時期、発表時期、従事期間等とともにその概要を記入してください。

- ・司法研修所等の教官・教員等（法曹の場合）
- ・自身の研究や実務実績のメディアによる掲載・紹介
- ・研修会・企業内研修・セミナー・講演会等での講師、実習指導、教材作成への関与等
- ・大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
- ・研究会・ワークショップ等での報告や発表
- ・科研費の審査委員
- ・各種褒章・表彰の審査委員
- ・行政機関における調査官等
- ・調査研究、海外事情調査等
- ・大学との共同研究
- ・各種試験・審議会・行政委員会、各種ADR等の委員
- ・各種団体や組織の理事・役員等

※学会関係は「教育研究業績Ⅳ：所属学会、保有資格、その他」に記入してください

【教育研究業績Ⅳ：所属学会、保有資格、その他】

- ◆該当する実績がない項目は「該当なし」と記載してください。
- ◆すべての項目が「該当なし」の場合でも、必ず提出してください。

1. 所属学会・役職等

現在所属している学会等について、学会名、役職等、所属年月を記入してください。

2. 保有資格等

たとえば、以下のような資格、免許等で専攻分野に関連するものがあれば、内容・取得年月を記入してください。

- ・教員免許：種類・区分・教科を記入してください。
- ・危険物や化学物質等を取り扱うための資格等（特定化学物質等作業主任者、有機溶剤作業主任者、エックス線作業主任者、衛生管理者、危険物取扱者等）

3. その他

上記いずれの項目にも該当しない特記事項があれば、記入してください。

以 上